

# 市民意識調査結果

今年1月に皆さんからいただいた調査の結果を公表します。

総合政策課  
(内線212)

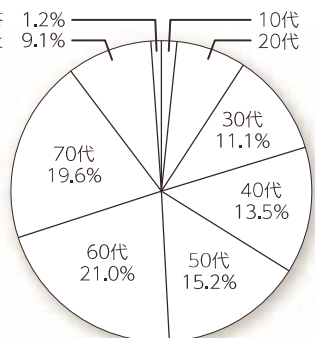
市民意識調査とは、市民の皆さんの行政などに対する意識を的確に把握し、各種の計画の策定や効果的な事業に生かすために実施している調査です。今年は18歳以上の市民の中から2千人を無作為に抽出し、調査票を配布しました。回収率は42.5%となり、前回調査(平成22年1月実施)の36.2%を上回りましたが、半数を下回っています。今後は、市民の市政への関心を高めることも課題といえます。

※小数点以下第2位を四捨五入して計算しているため、合計が100%にならない場合があります。

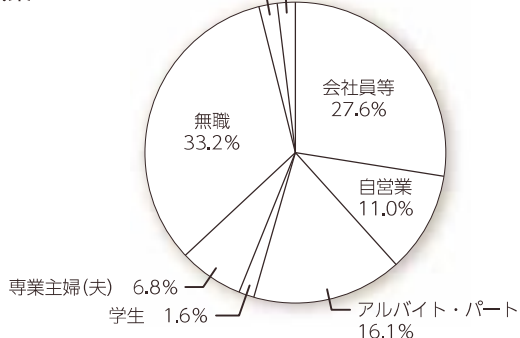
回答者の方は…

性別 男性 41.5% 女性 57.4%  
無回答 1.2%

年齢 無回答 1.2% 10代 1.9%  
80歳以上 9.1% 20代 7.5%



職業 その他 1.8% 無回答 1.9%



## 個別施策の満足度・重要度

個別の施策47項目について、満足度と重要度を伺いました。それぞれを点数化し、その平均点を満足度指数・重要度指数として表しています。

### 【指数の算出方法】

満足・重要	+1.0	やや不満・あまり重要でない	-0.5
やや満足・やや重要	+0.5	不満・重要でない	-1.0
どちらともいえない	0		

### 満足度の高い施策

1	ごみ処理対策	0.26
2	上水道の整備	0.25
3	資源のリサイクル対策	0.24
4	下水道の整備	0.18
5	消防体制の整備	0.16

### 満足度の低い施策

1	土岐市駅周辺の整備	-0.42
2	雇用環境の充実	-0.36
3	商業の振興	-0.31
4	観光の振興	-0.25
5	陶磁器以外の産業の振興	-0.24

### 重要度の高い施策

1	医療機関の充実	0.74
2	救急医療体制の整備	0.71
3	雇用環境の充実	0.65
4	保健・健診サービスの充実	0.64
5	地震・台風などの災害対策	0.63

### 【参考】 前回調査結果

満足1.5%  
やや満足14.9%  
どちらともいえない54.2%  
やや不満22.4%  
不満5.2%  
無回答1.8%

### 市の取り組み全体に対する満足度

満足 1.5%	やや満足 14.7%	どちらともいえない 40.9%	やや不満 20.7%	不満 5.3%	無回答 16.8%
---------	------------	-----------------	------------	---------	-----------

図4 市民意見は反映されていますか？

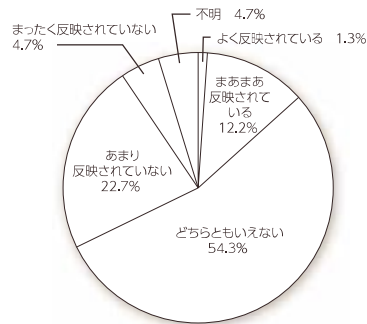


図5 市の情報を得るための手段

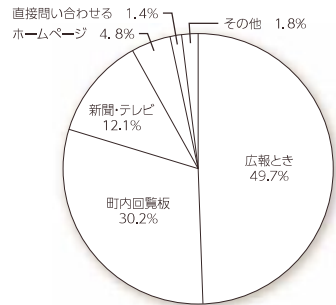
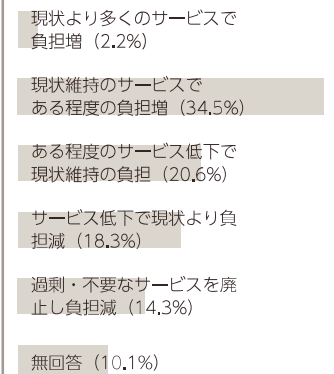


図6 行政サービスと市民負担



※アンケート結果は、市ホームページからご覧になれます。

### 市民の声を生かす

多くの市民は、市政に自分たちの意見が反映されていない、と感じている。

市民意見の市政への反映状況や反映させるための取り組みについて伺ったところ、市民の意見が市政に「まったく・あまり反映されていない」「どちらともいえない」と感じている人が81.7%もいることが分かりました(図4)。市民意見を反映させる取り組みとしては、市民参

加や意見聴取の場を増やすことや市民が政策や事業を提案できるような制度をつくることなどを要望する声が多く届きました。また、市議会議員と市民の直接討論会や目安箱の設置などの意見も寄せられました。

### 情報収集の手段

市が行っている取り組みや新たに始めるサービスなどは、広報紙や町内回覧板、ホームページなどでお伝えしています。市民の皆さんの情報を得る手段は、広報ときや町内回覧板から市政情報を得ている人が多く(図5)、今後も広い世代に情報を

### 行政サービスと市民負担のあり方

現状のサービスを維持しつつ、過剰・不要なサービスの見極めが必要。

今後、少子高齢化などの社会情勢の変化により、財政状況は厳しさを増していきます。そんな中、市民の皆さんは、行政サービスと市民負担について、どのように考えているの

でしょうか(図6)。「現状のサービスを維持するため、ある程度の負担が増えても仕方ない」と回答した人が最も多くなりました。中には、「どんなサービスがあるのか分からない」「安易な負担増は納得できない」といった意見もありました。市民負担の増加を抑制するために、今後も引き続き職員数の削減などの行政改革に努めていきます。

今回市民の皆さんからいただいた意見を参考に、市政運営を進めていきます。調査にご協力いただいた皆さんへ、心から感謝いたします。

図1 土岐市は暮らしやすいですか？

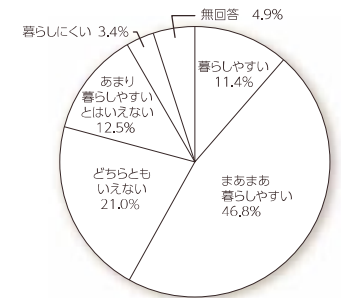


図2 今後も土岐市で暮らしたいですか？

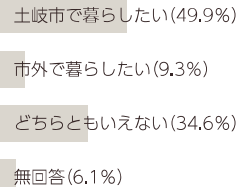
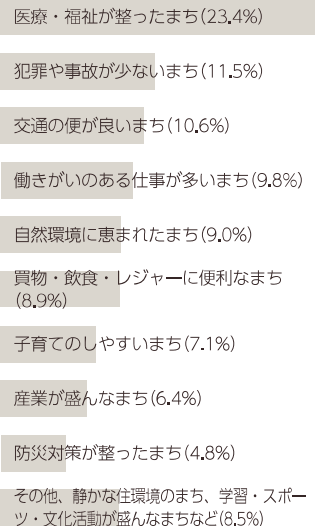


図3 住みたいまちとは？



### 土岐市の暮らしやすさ

およそ半数の人が「暮らしやすい」と答える。定住者を増やすことが課題。

「暮らしやすい」「まあまあ暮らしやすい」を合わせると、58.2%の市民が、土岐市は暮らしやすいと感じています(図1)。前回調査では、「暮らしやすい」「まあまあ暮らしやすい」が53.6%、「あまり暮らしやすい」とはいえない「暮らしにくい」が26.1%となっており、暮らしやすいと感じる人が少しずつ増えているようです。

土岐市で暮らしにくい。今後も土岐市で暮らしたいですか、という問いには、49.9%の人が市内で暮らしたいと回答しています(図2)。「どちらともいえない」という人の割合が多く、今後はどう感じている人に長く土岐市に住んでもらうための施策が必要となります。

### 住みたいまち

では、市民の皆さんはどんなまちに住みたいと感じているのでしょうか(図3)。多くの人が「医療・福祉が整ったまち」と答えています。前回調査と比較すると「働きがいのある仕事の多いまち」「防災対策が整ったまち」の割合が大きくなって

おり、多くの人が、安心・安全や安定を求める傾向にあります。

### 人口増加のために

土岐市の人口は、平成9年以降年々減少しています。そこで市民の皆さんに人口増加のための必要な取り組みを伺ったところ、企業誘致などによる雇用の場の確保や医療・福祉の助成などの上位を占めました。他には、▽商店街などの活性化▽大型商業施設の誘致▽独自の児童手当などの給付▽最新医療機器とドクター確保による市民病院の充実▽人口減少に応じた行政規模の適正化▽まちおこしのリーダー養成・



育成といった意見もありました。市では、今年度から人口増加の取り組みとして「定住促進奨励金制度」を始めました。詳しくは、ホームページ「トップページ」▽土岐市で暮らしやすさをご覧ください。